

■今度は『ペルセウス座流星群』がやってくる!

夜空を見上げよう 5 R2,8,10 ~関連授業：3年理科 単元4 地球と宇宙~

5月にみずがめ座流星群がありましたが、夏には「ペルセウス座流星群」がやってきます。今回は、見ごろになる時間が真夜中から朝方でしたので、今回は午後9時ごろから観測できるのでチャンスです。月は半月（下弦の月）で夜空がやや明るいのですが、夏なので晴れる可能性が高いのが何よりです。国立天文台によると、「11日の夜から13日の夜までの3夜で流星を多く見られ、12日の夜に最も多くの流星が出現すると予想され、21時頃から流星が出現するようになり、夜半を過ぎて薄明に近づくにつれて流星の数が多くなると考えられます。空の暗い場所だと1時間あたり最大30個が観測できると期待できます。目が屋外の暗さに慣れるまで、最低でも15分ほどは観察を続けると良いでしょう。」とのこと。詳しい紹介は、下の国立天文台HPをご覧ください。



①ほしぞら情報 2020年8月「ペルセウス流星群が極大」

<https://www.nao.ac.jp/astro/sky/2020/08-topics02.html>

②流星群の観測方法

<https://www.nao.ac.jp/astro/basic/obs-meteor-shower.html>

①



②



【ペルセウス座流星群】

母体となる彗星は130年周期で太陽を公転する「スウィフト・タートル彗星」です。冬の「しぶんぎ座流星群」「ふたご座流星群」と合わせて三大流星群と呼ばれています。詳しい説明は下の国立天文台HPをご覧ください。

③「ペルセウス座流星群とは」

<https://www.nao.ac.jp/astro/basic/perseid.html>

④「流星群とは」

<https://www.nao.ac.jp/astro/basic/meteor-shower.html>

⑤「主な流星群」

<https://www.nao.ac.jp/astro/basic/major-meteor-shower.html>

③



④



⑤



【ペルセウス座】

ペルセウス座は、ギリシャ神話に登場するペルセウスの姿です。見たものを岩に変えるという怪物メドゥーサを退治し、翼を持つ馬ペガサスに乗って帰る途中で、怪物に食べられそうになっていたアンドロメダ姫を助ける勇者です。星座の形は慣れないと分かりずらいですが、位置は北の空でカシオペア座（W型で目立つ：アンドロメダ姫の母親）の東隣りで、アンドロメダ座の下側にあります。ペルセウス座についての物語（ギリシャ神話）について知りたくなったら調べてみてね



■関連する授業《3年理科 単元4 地球と宇宙》の動画

⑥ 太陽系の誕生 NHK for School クリップ

https://www2.nhk.or.jp/school/movie/clip.cgi?das_id=D0005401862_000000&p=box

⑥



? 「流星群」と「隕石」は違うもの?

7月5日に関東地方で火球が観測され、その後に落ちてきた隕石が発見されたとのニュースがありました。どちらも「流れ星」「大気圏に落ちてきた」といえば同じですが、その違いはなんでしょうか? 興味が出たら、新聞記事やネット等を調べて、考えてみましょう。